

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

「『タクシー』という公共交通機関の立場から、地域社会の持続的発展に貢献します。」  
 当社は平成22年の会社設立後、菊陽町と周辺市町村にて地域のお客様の「足」となってきました。平成25年には日本初の試みとして全車両のEV(日産リーフ)化を実施。また、「SDGs」という言葉が存在しない頃から、持続可能な社会の実現を真剣に考えてきました。  
 一方で、急速に変化する社会環境の中で、当社においても更なる多面的な取り組みが必要であると考えます。今後、タクシー業界の先頭に立つような思いで公共交通機関としての立場からSDGs達成に向けての取り組みをおこなってまいります。

<SDGsに関する重点的な取り組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取り組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
◎環境 ○社会 ○経済	電気自動車(BEV)にて運行する全タクシー車両の運行効率を上げ、電力使用量を削減する。	電力使用量を 2025年時点で、 2022年比10%削減する。
○環境 ○社会 ◎経済	高齢者向け短時間勤務枠の設定等を通して、年齢を問わない乗務員採用を実施する。	2025年までに 高齢者を累計10名採用する。
○環境 ◎社会 ○経済	法令を遵守した安全運行を推進し、働きやすさと就業継続率向上を通じて、交通事故率減少を目指す。	有責事故数 2022年比⇒2025年半減

<パートナーシップ>

・熊本キャブグループ6社のうちの1社として、グループ全体にてBEVやHV等の低公害車の導入推進をおこなうとともに、ワークライフバランスの充実を通じた健康経営に取り組みます。  
 ・本社所在地である菊陽町と熊本市から乗合タクシーの運行を受託。地域住民の皆様の移動手段を積極的に提供しています。

- ・「SDGsに関する重点的な取り組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取り組みを記載してください。なお、取り組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取り組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取り組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

<SDGsに関する重点的な取り組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取り組みの状況	前期の指標	実績
○環境 ○社会 ○経済			
○環境 ○社会 ○経済			

○環境 ○社会 ○経済			
-------------------	--	--	--

- ・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。
- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。